

V 事業報告

令和2年初頭から世界的に感染が拡大した新型コロナウイルス感染症は、令和5年5月8日には感染症法上5類感染症に位置付けられ、人々の暮らしには賑わいが戻り、国際的な人的往来も活発化してきた。

こうした中、HIAでもコロナ禍で中止や制限をやむなくされた対面の交流等の事業を再開、オンラインの活用など時代の要請に合わせた形で改善を加えつつ事業を展開し、県広域にわたる多文化共生や国際交流の推進に努めた。

1 多文化共生社会の実現

地域の実情に合わせた日本語教育の体制づくりを市町等と連携しながら進めるとともに、災害時等における外国人支援、地域のボランティア団体等と連携した居場所づくり、多言語に対応した総合相談センターの運営により、多文化共生の環境づくりを推進。

(1) 地域と進める日本語に関する学習支援

ア 地域日本語教育の総合的な体制づくりの推進

(R5年度決算額 41,746 千円) (R4年度決算額 42,395 千円) 【国補助等】

日本語学習を必要とする外国人県民が、身近な生活圏で日常生活に必要な日本語能力を身につけることができるよう、文化庁「地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業」を活用し、全県レベル・地域レベルでの日本語教育体制を整備。

(ア) 兵庫県地域日本語教育の総合的な体制づくり

① 総合調整会議の開催

県・市町、教育機関(大学・日本語学校)、外国人コミュニティ、経済団体等関係機関による総合調整会議を開催、県内の日本語教育の推進課題について協議・検討。

・時 期：6月2日(金)、1月24日(水)

・形 式：オンライン

・内 容：地域日本語教育の総合的な体制づくりに係る事業計画 等

② 総括コーディネーターの配置

文化庁事業を推進するため総括コーディネーター2人を配置し、総合調整会議を開催するほか、全県的な体制づくりのための事業の実施、モデル事業実施地域の体制づくりを支援。

③ 県内の地域日本語教育に関する基礎調査実施

令和6年度以降の事業展開のために、県内の市町、国際交流協会、及び日本語教室に対して日本語教育の現状や課題に関する調査を実施。

(イ) 地域におけるモデル事業の実施(市町への委託)

令和4年度から継続して、阪神(三田市)・淡路(淡路市)の2地域でモデル事業を実施。

① 地域調整会議の開催

地域における日本語教育の体制づくりのため、市町、教育機関、日本語教室、企業関係団体、労働関係団体等地域における関係機関による地域調整会議を開催。

地域	時期
阪神地域	6月30日(金)、1月26日(金)
淡路地域	8月21日(月)、1月23日(火)

② 地域コーディネーターの配置

モデル事業実施地域(阪神・淡路)に地域コーディネーターを各2人配置し、地域調整会議の開催、地域日本語教室開催等のモデル事業を実施。

③ 日本語教師による地域日本語教室の実施

日本語教師とボランティアが連携して教室活動を実践することを通じ、各地域で提供できる日本語学習の質と機会の向上を促進。

a 初期日本語教室

- ・対象：地域在住外国人県民(阪神・淡路)
- ・内容：専門性を持つ日本語教師が授業を担当し、地域の学習支援ボランティアにも参加を呼びかけて入門期の日本語講座を対面で開催。
- ・時期：阪神地域4月23日(日)～7月9日(日)
淡路地域9月24日(日)～11月12日(日)
- ・受講者：阪神地域10人、淡路地域8人

b 地域ニーズに対応した日本語教室

地域在住外国人県民(阪神・淡路)を対象に、これまで地域で対応できなかったニーズに応える日本語講座を開催。

- ・阪神地域：さんだくらしのにはんご(ウッディタウン地区会場)
時期9月10日(日)～11月26日(日)
受講者7人
- ・淡路地域：スキルアップ日本語
時期9月24日(日)～11月12日(日)
受講者14人

④ 住民参加型イベント・研修会

日本語学習者の地域社会への参加促進に向けて、住民参加型イベント・研修会等を地域の実情に合わせて実施。

a 阪神地域(三田市)

◇阪神地域住民対象研修①

- ・時期：令和5年8月26日(土)
- ・内容：「日本語教室がつなぐ地域と外国人」
- ・参加者：27人

◇阪神地域住民対象研修②

- ・時期：令和5年11月18日(土)
- ・内容：「つかってみよう やさしいにはんご」
- ・参加者：国際交流イベント来場者が自由に参加

◇阪神地域外国人雇用事業者対象研修

- ・時期：令和6年1月12日(金)
- ・内容：「職場におけるやさしい日本語」
- ・参加者：37人

◇地域の防災訓練に参加しよう

- ・時期：令和6年1月20日(土)

- ・内 容：日本語講座で災害に関して学び、自治会主催の地域の防災訓練に参加（全参加者約 300 人）
- ・参加者：37 人（うち外国人参加者 16 人）

B 淡路地域（淡路市）

◇多文化料理交流会

- ・時 期：令和 5 年 11 月 19 日（日）
- ・内 容：外国人市民に講師を依頼し、その国の文化と料理について学ぶ
- ・参加者：外国人講師 9 人、外国人住民 4 人、日本人住民 21 人



住民参加型イベント・料理交流会(淡路市)



日本語教師による地域日本語教室等（三田市）

(ウ) 外国人県民対象日本語講座開催事業

広く全県を対象に、オンライン等の手法を取り入れながら、生活場面での対処能力を高めるための日本語教師による講座を開催。

また、地域の日本語教室への知見の普及を図るため、見学者やサポーターを受け入れるほか、日本語教育の活動拠点として、日本語教育教材や地域日本語教育に関する資料の収集・管理、調査・研究に資する日本語教育推進室を管理・運営。

① 「外国人県民対象初級日本語講座」

- ・内 容：オンラインによる文型積み上げ型初級講座
- ・回数等：各クラス 2 時間×週 2 回× 9 週間× 2 期 72 時間
- ・クラス：初級 6 クラス（A～F）
- ・受講者：年間 119 人（第 1 期 60 人、第 2 期 59 人）
- ・時 期：第 1 期 5 月 22 日（月）～7 月 24 日（月）
第 2 期 11 月 9 日（木）～1 月 29 日（月）
- ・受講料：各期 1,000 円

② 「すぐに役立つ日本語講座」(集中日本語講座)

- ・内 容：生活場面と密着したコミュニケーション能力の向上に資する講座
- ・日数等：18 日間 45 時間
- ・クラス：2 クラス（レベル別）
- ・受講者：11 人
- ・時 期：9 月 5 日（火）～9 月 29 日（金）
- ・受講料：4,000 円

- ③ ウクライナ避難民対象オンライン日本語講座
 - ・内 容：地域での継続的な支援を視野に入れ、その前段階として地域住民との交流に最低限必要な入門期の日本語を学ぶ講座
 - ・回数等：2時間×20回 計40時間
 - ・クラス：1クラス
 - ・受講者：2名
 - ・対 象：県内在住ウクライナ避難民（神戸市を除く）
 - ・時 期：4月10日（月）～8月28日（月）



すぐに役立つ日本語講座
～ルールを見てごみを分別してみよう～

（エ） 日本語学習支援人材育成事業

地域の実情に応じた日本語学習支援に向けた学習支援ボランティア、日本語教師、地域日本語教育コーディネーター等の人材を育成し、外国人県民・児童生徒の支援に役立つ研修を実施。

- ① 生活者としての外国人県民（成人）への学習支援ボランティア対象研修
 - ・時 期：11月1日（水）、11月8日（水）、11月15日（水）、
11月29日（水）、12月13日（水）
 - ・形 式：オンライン
 - ・回 数：全5回（オンライン2.5時間×5回）
 - ・内 容：地域日本語学習支援の意義、支援者としての基本スキル等を理解
 - ・参加者：延べ249人
- ② 日本語教師対象研修（※日本語教育学会と共催）
 - ・時 期：11月17日（金）～19日（日）
 - ・形 式：対面
 - ・回 数：全3回（4.17時間×3回）
 - ・内 容：「日本語教育の参照枠」をもとにカリキュラム設計を学ぶ
～生活分野での活用～
 - ・参加者：19名
- ③ 地域日本語教育コーディネーター育成研修
 - ・時 期：8月30日（水）、10月4日（水）、12月6日（水）
 - ・形 式：対面
 - ・回 数：全3回（4時間×3回）
 - ・内 容：地域の外国人県民や教室の課題を明らかにし、解決策や実践計画を作成するとともに、コーディネーターに求められる幅広い役割を理解
 - ・参加者：延べ46人

- ④ 外国につながる子どもへの日本語・学習支援を考える研修会
 - ・時 期：12月20日（水）18：00～20：30
 - ・形 式：オンライン
 - ・回 数：全1回（2.5時間）
 - ・内 容：外国をルーツとする児童生徒の日本語、学習支援を巡る課題や行政の施策を理解
 - ・参加者：66人
- ⑤ ICT研修（日本語学校等へ委託）
 - ・時 期：10月14日（土）、10月21日（土）、10月28日（土）、11月4日（土）、11月11日（土）、11月25日（土）
 - ・形 式：オンライン
 - ・回 数：全6回（2時間×6回）
 - ・内 容：オンライン活用に関する基礎理解、学習支援への応用、ICT教材の活用等を理解
 - ・参加者：延べ144人
- ⑥ 地域日本語教育シンポジウムの開催

兵庫県で取り組む文化庁事業、国の動向、市町の役割等について理解を深めるため、市町・市町国際交流協会、日本語学習支援者、日本語教師、関係者等を対象に実施。

 - ・時 期：8月4日（金）
 - ・形 式：オンライン
 - ・回 数：全1回（3時間）
 - ・内 容：多文化共生社会と地域における日本語教育、国の動向、兵庫県地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業県内市町の取組について等
 - ・参加者：56人

（オ） 日本語教育体制づくり事業

- ① 市町日本語教育体制づくり事業（文化庁間接補助事業）

市町等による外国人県民・児童生徒を対象とした日本語教室等の開催など地域日本語教育の体制づくりを推進するため、市町等による地域日本語教育事業にかかる財政支援を実施。

 - ・対 象：豊岡市、三木市、小野市、加西市、朝来市、多可町、播磨町、上郡町、公益財団法人西宮市国際交流協会、高砂市国際交流協会
- ② 民間日本語教育体制づくり事業（文化庁間接補助事業）

民間団体・グループによる外国人県民・児童生徒を対象とした県内の日本語教室等の事業が、外国人県民・児童生徒の居場所として、更には日常生活や緊急時のセーフティーネットとしての役割を果たすことを目指し、運営費を財政支援。

 - ・対 象：東灘日本語教室、こうべ子どもにこここ会、特定非営利活動法人神戸定住外国人支援センター、特定非営利活動法人多文化センターまんまるあかし
- ③ 生活に必要な日本語のニーズ別学習支援方法の検討

地域の日本語教室において多様化する外国人学習者のニーズに対応するため、学習者の属性（技能実習生、日本人配偶者、日系人等）や生活上の必要性（教

育、安全に暮らす、社会参加等)を踏まえ、各教室で参考にしやすいように地域事例を整理し、情報提供。

④ 入門期の外国人が学習しやすい教材の作成・普及

平成27年にHIAが作成した『くらしのほんご』(英語・中国語・スペイン語・ポルトガル語・ベトナム語版)を基に、「入門版」を作成し、令和4年度、5年度に「すぐに役立つ日本語講座」で試用。そこで得た知見を踏まえて改訂を行い、英語、中国語、ウルドゥー語版を作成、WEBサイトで公開し、地域の支援者への普及を促進。

⑤ 「日本語教育の参照枠」「生活 Can Do」の活用についての検討

「日本語教育の参照枠」(※1)及び「生活 Can Do」(※2)に関する情報を収集・整理し、活用に向けた検討に着手。

※1 日本語教育に関わる全ての者が、学習者の日本語レベルに応じて求められる日本語教育の内容・方法について参照できる日本語学習、教授、評価のための枠組み。

※2 生活場面での日本語能力を「～ができる」という形で具体的に示し、まとめたもの。「日本語教育の参照枠」の能力レベルを踏まえて文化庁が作成。

(2) 多言語による相談体制の充実と情報発信

ア ひょうご多文化共生総合相談センターの運営

(R5年度決算額 36,087千円) (R4年度決算額 35,752千円) 【県委託等】

国の「外国人材の受入れ・共生のための総合的対応策」に基づき、法務省の支援を得て外国人県民への総合生活相談窓口機能を有するセンターとして県が設置する「ひょうご多文化共生総合相談センター」を運営。同センターでは、平日の生活相談は「外国人県民インフォメーションセンター」が実施し、週末相談についてはNGOと協働で「週末相談窓口」において実施。

(ア) 外国人県民インフォメーションセンターの運営

医療、暮らし、社会保障、教育、労働など外国人県民の日常生活の多様な相談に対応するため、5言語による相談員及び専門相談員による生活相談を実施。

また、電話通訳及び翻訳アプリの活用により、ベトナム語、韓国語、タガログ語、インドネシア語、タイ語、ネパール語等での対応を実施(合計22言語)。

・開設時間：月曜日～金曜日 9:00～17:00

・体制：センター長1人、相談員5人

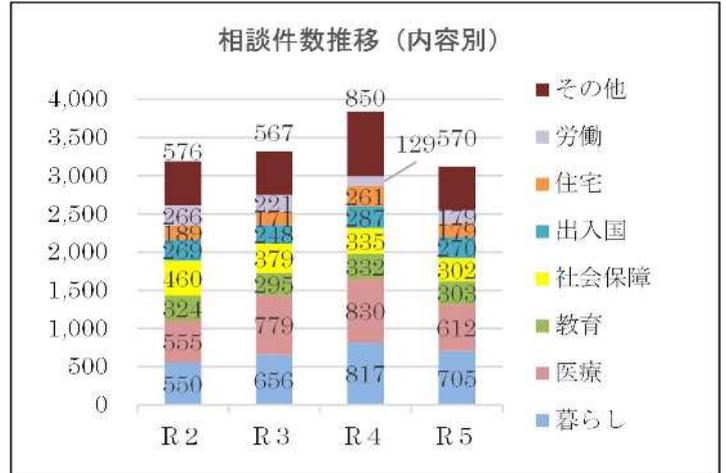
・対応言語：(相談員)日本語、英語、中国語、スペイン語、ポルトガル語

(電話通訳等) タガログ語、韓国語、ベトナム語、インドネシア語、タイ語、ネパール語、ミャンマー語、クメール語、マレー語、モンゴル語、シンハラ語、ヒンディー語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、ロシア語、ウクライナ語

・相談件数：3,120件(令和4年度実績 3,841件)



外国人県民インフォメーションセンター



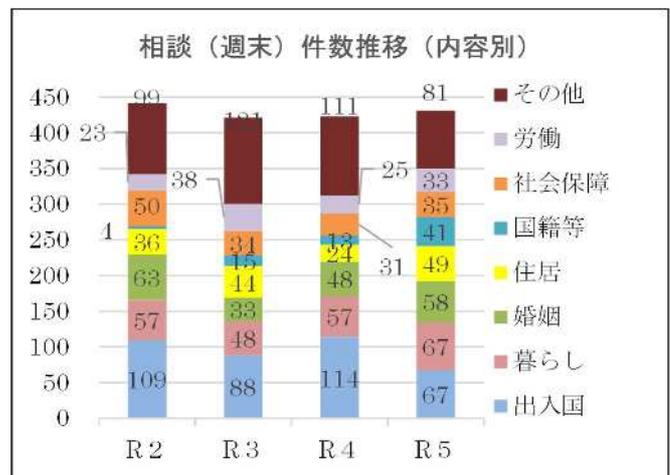
(イ) 週末相談窓口の運営

外国人県民インフォメーションセンターでの相談体制を補完する週末相談を、NGOと協働で、電話通訳及び翻訳アプリの活用により、同センターと同等の言語で対応（合計22言語）。

- ・実施団体：NGO 神戸外国人救援ネット
- ・開設時間：土・日曜日 9:00～17:00
- ・体制：専門相談員2人が電話通訳も活用して対応
- ・対応言語：（相談員）日本語、英語、中国語、スペイン語、ポルトガル語、タガログ語
 （電話通訳等）韓国語、ベトナム語、インドネシア語、タイ語、ネパール語、ミャンマー語、クメール語、マレー語、モンゴル語、シンハラ語、ヒンディー語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、ロシア語、ウクライナ語
- ・相談件数：431件（令和4年度実績 423件）



NGO 神戸外国人救援ネット



(ウ) NGO/NPO が行う夜間相談活動等の支援

- ・対象団体：NPO 法人 NGO 神戸外国人救援ネット、NPO 法人篠山国際理解センター
- ・相談件数：356 件（2 団体合計。）

団体名	対応言語	相談日時	件数
NGO 神戸外国人救援ネット	英・スペイン・ポルトガル・タガログ語	毎週金曜 17 時～20 時	186
特定非営利活動法人 篠山国際理解センター	英・ポルトガル語	毎週水曜 13 時～16 時	170

イ HIA 日本語及び多言語 WEB サイトの運用・保守

(R5 年度決算額 2,106 千円) (R4 年度決算額 2,314 千円)

日本語 WEB サイト及び多言語 WEB サイトを通じて県内在住の外国人、支援者等に対する生活・講座情報等が円滑に発信できるよう、同システムの運用・保守を実施。

- ・多言語 WEB サイトの言語：英語、中国語、スペイン語、ポルトガル語、ベトナム語、やさしい日本語
- ・アクセス件数：307,104 件

ウ 医療機関における外国人患者受入環境の整備

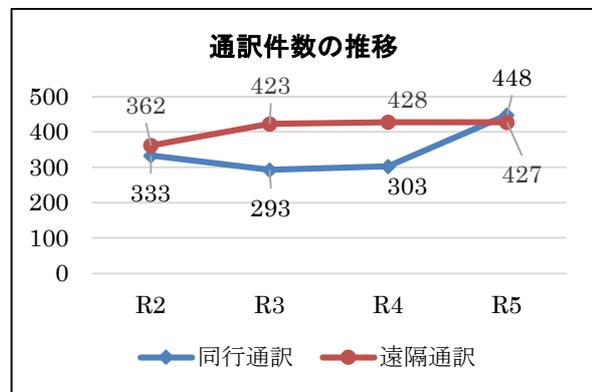
(R5 年度決算額 3,000 千円) (R4 年度決算額 3,000 千円)

医療機関における外国人患者受入環境を整備するため実施する医療通訳コーディネーターの配置に伴う人件費及び遠隔地通訳システム構築に要する経費の一部を助成。

- ・医療通訳利用件数：同行通訳 448 件、遠隔通訳 427 件



同行通訳対応



(3) 災害時等における外国人支援

ア 外国人県民向け多言語情報発信事業

(R5 年度決算額 54 千円) (R4 年度決算額 481 千円) 【県委託・補助等】

情報不足による外国人県民の不安の軽減を図るため、災害時等に緊急情報を多言語で情報発信できる体制を整備。

① 災害時・非常時等多言語緊急情報翻訳事業

災害時・非常時等の翻訳について、翻訳・通訳を専門とする団体・企業と契約を締結し、早急に多言語で情報発信をする体制を整備。

- ・委託先：NPO 法人多言語センターFACIL、株式会社イー・シー
- ・件数：0 件

- ② 新型コロナウイルス感染症関連情報翻訳事業
ワクチン接種に関する情報や感染対策に関すること等、新型コロナウイルス感染症に係る情報を翻訳し、外国人相談窓口での提供やWEB サイトでの発信等を実施。
 - ・ 翻訳内容：新型コロナウイルスの感染症法上の分類変更について
 - ・ 件 数：1件
- ③ 多言語情報翻訳事業
外国人県民に必要な情報を適宜翻訳し、発信。
 - ・ 件 数：0件
- ④ 多言語情報発信に係る関係団体との連携等事業
外国人県民向けの情報提供のあり方などを外国人コミュニティ団体や関係機関等と意見交換の実施、各種会議等への参加を通じて、関係機関との連携強化を実施。
 - ・ 時 期：11月16日（木）
 - ・ 場 所：県立聴覚障害者情報センター
 - ・ 参加団体：各市町・気象庁・聴覚障害者情報センター・人と防災未来センター職員



県立聴覚障害者情報センター開催研修で
外国人向け情報発信の取組を紹介

イ 災害時外国人支援

(R5年度決算額 125 千円) (R4年度決算額 633 千円)

地域の国際化が進展する中、災害時に外国人が被災者となるケースも増加している。言葉や文化の違いから、災害時に必要な情報を得ることが難しい外国人もいることから、特別な支援の必要性が想定される。そのため、多言語支援センターの設置訓練の実施等、災害時に備えるとともに市町及び市町国際交流団体の取組を促進。

- ① HIA 多言語広域支援センター設置訓練
多言語広域支援センター設置に関するノウハウを習得するため、国際課の参加も得て、訓練を実施。
 - ・ 時 期：8月31日（木）
 - ・ 参加者：32名
- ② 災害時通訳ボランティア研修等の実施
災害時に外国人への支援を行う人材を育成するため、神戸国際コミュニティセンター一等と共催で研修を実施。
 - a 第1回
 - ・ 時 期：10月21日（土） 13：30～16：30
 - ・ 場 所：神戸国際コミュニティセンター
 - ・ 形 式：対面＋一部オンライン
 - ・ 共 催：(公財) 神戸国際コミュニティセンター
近畿地域国際化協会連絡協議会

- ・参加者：44名
- b 第2回
 - ・時期：2月10日（土） 13：30～16：30
 - ・場所：JICA 関西
 - ・形式：対面＋一部オンライン
 - ・共催：（公財）神戸国際コミュニティセンター、JICA 関西
 - ・参加者：55名
- ③ 災害時外国人支援助成事業

県内の市町国際交流団体等が行政と連携して実施する災害時の外国人支援事業に対して助成。

 - ・助成件数：0件
- ④ 県・丹波地域合同防災訓練への参加

県民の防災意識の高揚と地域防災力の向上を図るため、県等が実施する広域合同防災訓練に、県国際課とともに参加し、避難所における外国人対応の訓練を支援。

 - ・日程：9月3日（日）
 - ・場所：柏原住民センター



災害時通訳ボランティア研修（2月10日）

ウ 子どもと親の防災ガイドブック改訂事業

（R5年度決算額1,316千円）（R4年度決算額1,249千円）

平成24年度に作成した外国人児童生徒への母語教育教材として作成した「子どもと親の防災ガイドブック」について、令和5年度は、中国語（繁体字）、フランス語、ロシア語、ミャンマー語、ネパール語の5言語版を新たに作成・配布。令和3・4年度の作成分と合わせて計15言語を作成。



表紙



内容（見開きで、日本語と外国語を併記）

エ ウクライナ避難民への支援

(R5年度決算額 12,790千円) (R4年度決算額 33,060千円) 【県補助等】

県内在住の親族・知人等を頼ってウクライナから本県に一時避難した方々が安心・安全に過ごすことができるよう、生活準備及び日常生活への支援を実施。

(ア) ウクライナ避難民生活支援金の支給

ウクライナ避難民2世帯に支援金を支給。

- ・支援実績：2世帯 3,400千円

(イ) 公民連携プラットフォームひょうごウクライナ避難民支援サイトの運営

ウクライナ避難民が安全・安心に過ごすことができるよう、日常生活や就労に関し、県・市町・企業等が支援の輪を広げる公民連携プラットフォーム特設サイトを運営。

- ・登録数：59法人・団体

(ウ) ウクライナ避難民への日常生活支援コーディネート事業

県内での生活を開始したウクライナ避難民向けに相談窓口を設置し、生活に関する相談受付およびヒアリングを実施し、課題解決のために、各種支援機関・市町等との調整を図り、避難民の暮らしへの日常の支援（同行通訳や翻訳等を含む）を実施。

- ・委託先：NPO法人多言語センターFACIL
- ・支援実績：日常支援81件、生活相談143件

(エ) 県内ウクライナ人コミュニティ形成促進事業（新規）

避難生活の長期化等を見据え、避難民の安全・安心を支えるため、兵庫の魅力を体験できる機会を設けつつ、「地域と繋がることのできる場」、「地域で活躍できる場」づくりを応援し、地域におけるウクライナ避難民を中心としたコミュニティ形成を促進。

- ・委託先：NPO法人多言語センターFACIL
- ・内容：避難民向けバスツアー・交流会、避難民による文化紹介
- ・件数：15件



有馬温泉交流会



南あわじ市バスツアー

(オ) ウクライナ避難民対象オンライン日本語講座

〔再掲〕

(カ) 外国人県民インフォメーションセンターの運営

〔再掲〕

(4) 多文化共生の環境づくり

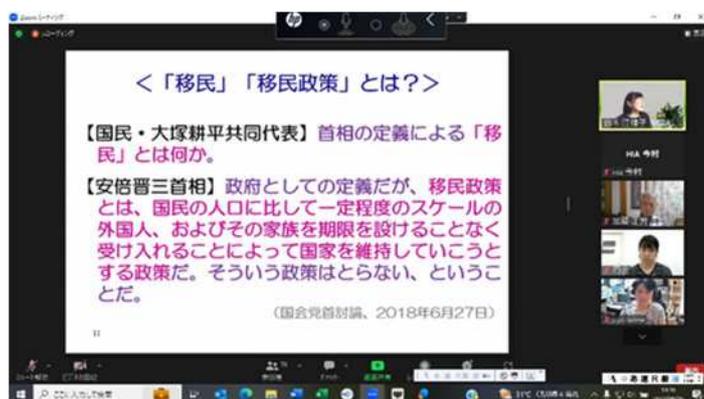
ア 多文化共生を考える研修会の開催

(R5年度決算額 1,280 千円) (R4年度決算 1,280 千円)

外国人県民と接する機会の多い行政職員、教員、日本語教師、ボランティア等が、多文化共生について理解を深めることができる研修会を NGO と協力しながら開催。

- ・形式：オンライン
- ・対象者：行政職員、教員、日本語教師、ボランティア、外国人支援 NGO 等
- ・時期：令和5年8月16日、18日、22日、25日
- ・実績：4日間〔令和5年度：延べ321人参加〕

時期	テーマ
8月16日(水)	総論～「移民国家」日本の現実～
8月18日(金)	海外から学ぶ～多文化を包摂する試み～
8月22日(火)	教育～外国ルーツの子どもを支えるために～
8月25日(金)	当事者の力～多様な背景を持つ人の活躍～



多文化共生を考える研修会

イ 外国人県民・児童生徒の居場所づくり

(R5年度決算額 12,232 千円) (R4年度決算額 12,210 千円)

外国人県民・児童生徒が定期的集まることができ、地域社会で生活する拠点となるとともに、日常生活や緊急時のセーフティーネットとして機能する、外国人県民・児童生徒の「居場所」として地域の母語教室、学習支援教室等の運営を行うボランティア団体等を支援。

① 基本メニュー

◇児童生徒対象の母語・母語による学習支援教室の開催

・講座数：24 講座

◇地域日本語教室の開催

・講座数：42 講座

◇児童生徒対象の日本語・日本語による学習支援教室の開催

・講座数：24 講座

◇技能実習生等対象の日本語教室の開催

・講座数：1 講座

② 追加メニュー

上記基本メニューに加えて、地域のニーズに合った取組を実施。

◇地域との交流活動事業の開催及び居場所としての機能に必要な取組

- ・事業数：12 事業
- ・事業例：地域の人との交流を図る多文化共生イベントや発表会等

◇外国人児童生徒の社会的・職業的自立を支える事業の実施

- ・事業数：4 事業
- ・事業例：先輩の体験談を聞き将来の目標を考えるワークショップ等

◇外国人児童生徒の進路・進学や未就学児童生徒等の学習（プレスクール）を支える事業の開催

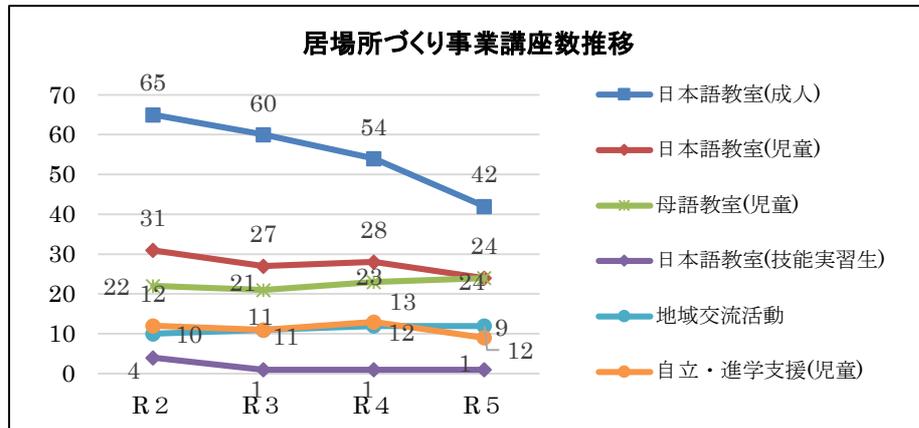
- ・事業数：5 事業
- ・事業例：入園・入学及び就学前の児童生徒のためのプレスクール教室等



やぶ日本語教室（養父市）



KFC 神戸定住外国人支援センター（神戸市）



ウ 海外移住と文化の交流センターへの支援

(R5年度決算額 265 千円) (R4年度決算額 377 千円)

神戸市立海外移住と文化の交流センターにおいて、在住外国人が日本人へ自国文化を発信し交流する事業をNPO団体との協働で実施し同センターの活用を促進。

- ・内 容：多文化交流フェスティバルの開催

① 移民祭

- ・時 期：4月29日（土）
- ・参加者：131人

- ② ブラジル・日本のこどもの絵の交流展
 - ・時 期：8月1日（火）～1月31日（水）
 - ・参加者：410人
- ③ サロンカーニバル
 - ・時 期：2月10日（土）
 - ・参加者：52人

(5) 母語教育の推進

ア 母語教育等活動支援事業

(R5年度決算額 4,500千円) (R4年度決算額 4,502千円)

外国人コミュニティによる母語教育等、身近な場所におけるきめ細やかな生活支援体制を構築し、外国人を含むすべての県民が安全で安心して暮らせる社会づくりを推進。

- ・支援団体：ベトナム夢 KOBE、一般社団法人ひょうごラテンコミュニティ、NPO 法人関西ブラジル人コミュニティ CBK

2 交流人口の拡大

草の根による国際交流や国際会議の開催、県民の国際理解の促進を通じて、国内外の人的交流を推進し、県民の国際交流を進めるとともに、大阪・関西万博を契機とした兵庫県へのインバウンド誘致にも貢献。

(1) 国際交流の推進

ア ひょうご国際プラザの管理・運営

(R5年度決算額 131,618 千円) (R4年度決算額 130,255 千円) 【県委託等】

各種国際関係情報の提供やNGO等と連携した展示など国際交流等の場として設置している「ひょうご国際プラザ(図書館・交流ギャラリー)」を管理、運営。

・利用実績

区分	令和4年度	令和5年度	対前年同期比
来館者数	4,723人	6,494人	137%
貸出冊数	3,509冊	4,073冊	116%
交流ギャラリー展示件数	6件	8件	133%
図書館イベント	0件	5件	—



国際情報センター



モルドバGalleryと講演の全国フェスタ展セミナー



ポーランド展「ワルシャワとマリウポリ」

イ 兵庫県海外事務所の運営

(R5年度決算額 146,945 千円) (R4年度決算額 157,472 千円) 【県委託等】

兵庫県の国際戦略を推進するための拠点として、海外における友好交流、経済交流、観光交流事業を展開するため、兵庫県ワシントン州事務所、兵庫県パリ事務所及び兵庫県香港経済交流事務所を運営。

① 経済交流事業の展開

ひょうご産業活性化センターとの連携により、現地事務所のネットワークを生かして、地場製品の海外販路開拓など県内企業の現地活動を支援。また、海外の経済発展を本県の新たな経済成長に取り込むため、外国・外資系企業の県内への誘致を促進。

② 観光交流事業の展開

観光フェア等への出展やセミナーの開催など様々な機会を捉えて、現地の政府関係者・旅行業関係者などに対して本県をPRすることで、外国人観光客の誘致を促進。

③ 友好交流活動の展開

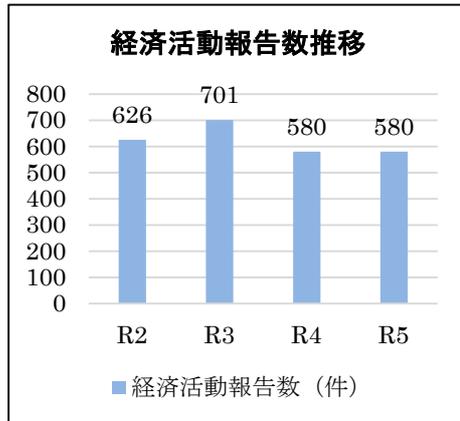
友好・姉妹州省を中心とする世界の各地域と双方の課題解決に向けた交流を推進するため、市町レベル・県民レベルの交流支援のほか、兵庫のプレゼンスを高めるための日本文化紹介事業の開催、学校間交流やスポーツ交流など、広範囲にわたる友好交流活動を展開。

④ 草の根ネットワークの構築

海外事務所の円滑な運営を図るため、現地関係者・団体等とのネットワークを構築し、人材活用など相互に協力。また、ワシントン州では、これまでの文化活動を通しての草の根活動を継続し、南米では本県出身者の現地コミュニティ活動を支援。

区 分		兵庫県ワシントン州事務所	兵庫県パリ事務所	兵庫県香港経済交流事務所
設置国		アメリカ合衆国	フランス共和国	中華人民共和国
設置都市		シアトル	パリ	香港
設置時期		H2. 5. 1	H5. 10. 1	H24. 10. 1
担当エリア		北米 中南米	ヨーロッパ 中東 アフリカ	中国 ASEAN インド 大洋州
県職員の配置		1名	2名	1名
市町等からの派遣		副所長1名 (神戸市から派遣)	副所長1名 (神戸市から派遣)	副所長1名 (民間企業から派遣)
連携体制※	広 域	○	○	○
	ビジネス	○	○	○
	県立大	○	○	○
	神戸大	○	—	—
	神戸市	○	○	—

※「広域」：関西広域連合共同事務所、「ビジネス」：ひょうご海外ビジネスセンター参与（経済交流担当）、「県立大」：県立大学海外事務所、「神戸大」：神戸大学海外拠点、「神戸市」：神戸市との共同事務所



ロサンゼルスでのトッププロモーション
(ワシントン)

ウ 大阪・関西万博関連施策プロモーション事業（新規）

(R5年度決算額6,000千円)【県委託】

大阪・関西万博を契機としたインバウンド観光客誘致のため、「ひょうごフィールドパビリオン」の魅力を海外にPRするプロモーションを実施。



万博推進課のフランスプロモーション
への支援（パリ）



ITF 台北国際旅展でのPR（香港）

エ 南米との交流促進事業

(R5年度決算額2,932千円) (R4年度決算額3,220千円)【県委託】

令和4年3月にブラジル事務所を閉鎖したが、その後も継続して南米地域との交流事業を展開するため、現地連絡員をパラナ州クリチバに設置し、友好ネットワークを維持・発展。

オ 海外展開支援ブースへの出展

(R5年度決算額145千円) (R4年度決算額95千円)

中小企業の海外展開支援に対する海外事務所の積極的な取組をアピールするため、国際フロンティア産業メッセに出展。

・時 期：9月7日（木）、8日（金）

カ ひょうごホームステイ受入の調整

(R5年度決算額 35 千円) (R4年度決算額 0 千円)

県内に滞在する外国人に兵庫の魅力を知ってもらうとともに、外国人及び受入家庭の双方が異文化に対する理解を深め、交流を活発化できるよう、ホームステイを希望する外国人のマッチング等を実施。

- ・対 象：HIA の関係団体、HIA が実施する各種青少年交流プログラム参加者、県内大学等の留学生で大学から受け入れ依頼があった者
- ・登録数：65 家庭
- ・受入実績：4 件 17 名 (受入家庭数のべ 14 家庭)

キ 訪日教育旅行の誘致促進・学校交流支援

(R5年度決算額 9,888 千円) (R4年度決算額 9,608 千円) 【県補助等】

訪日教育旅行において重視されている学校交流等を県内において促進するとともに、若年層の交流拡大によるリピーターや兵庫ファンづくりを図るため、教育委員会・学校・地域等における受入体制の推進に向けた調整等を実施。

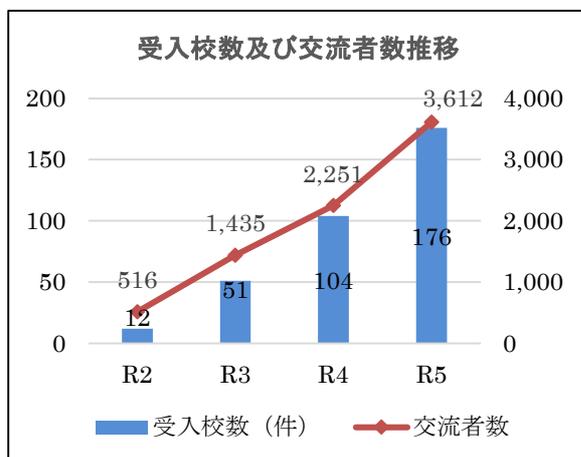
また、訪日教育旅行にかかる学校交流に係る企画・調整や、学校現場と訪問団の円滑な交流の実現に向けた取組を推進。

① 学校交流等受入実績

- ・形 式：対面及びオンライン (対面交流 27 件、オンライン交流 148 件、視察 1 件)
- ・実 績：176 件(台湾 72、韓国 42、米国 40、マレーシア 11、ニュージーランド 4、インド 3、フランス 2、豪州 1、カナダ 1)、3,612 人

② プロモーション

- a 韓国プロモーション
 - ・時 期：9 月 4 日 (月) ～7 日 (木)
- b 香港ファムトリップ
 - ・時 期：12 月 23 日 (土) ～27 日 (水)
- c 台湾ファムトリップ
 - ・時 期：2 月 2 日 (金)
- d 台湾プロモーション
 - ・時 期：2 月 18 日 (日) ～22 日 (木)
- e 韓国プロモーション (オンライン)
 - ・時 期：3 月 29 日 (金)



台湾との交流 (阪神昆陽特別支援学校)

ク 草の根の国際交流の推進

(R5年度決算額 878 千円) (R4年度決算額 468 千円)

HIA 事業・活動への支援組織である HIA 友の会会員を中心に、県民が主体となった草の根の国際交流や多文化共生づくりを積極的に実施。

① 国際交流サロン

a 「MANGA 名探偵コナンフランス語翻訳者と異文化理解の謎を解け」

- ・時 期：6月24日(土)
- ・形 式：オンライン
- ・参加者：84名
- ・内 容：漫画のフランス語翻訳者による日本とフランスの文化の違いと、海外で働くことを希望する人向けへのアドバイス。

b 「アジアのハブとしての香港の今、そしてこれから」

- ・時 期：10月20日(金)
- ・形 式：対面
- ・参加者：64名
- ・内 容：長らくアジアのハブとしてビジネスや多国間貿易を担ってきた香港経済の現状と今後の動向について、香港貿易発展局大阪事務所長と兵庫県香港経済事務所長の2名の専門家による香港経済の現状と今後の動向についての報告。

② 食文化交流教室

a 「クリスマスを奏でる ドイツのすてきなお菓子たち」

- ・時 期：12月1日(金)
- ・形 式：対面
- ・参加者：22名
- ・内 容：バウムクーヘンの焼成体験と、クリスマスを奏でる素敵なドイツ菓子の魅力をマイスター(ドイツの国家資格)が紹介。

b 「ベトナム料理教室 テト伝統の味わい」

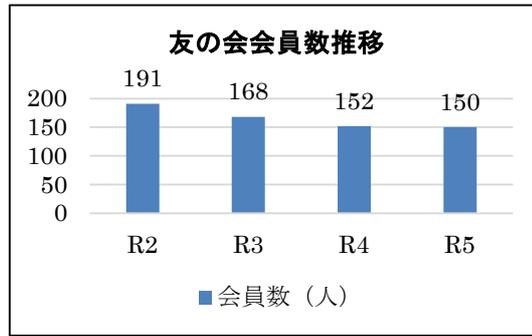
- ・時 期：2月23日(金)
- ・参加者：25名
- ・内 容：ベトナムの旧正月料理を作り試食するとともに、ベトナムの旧正月の行事や風習等をベトナム人講師が紹介。



アジアのハブとしての香港の今、そしてこれから (講演会)



ベトナム料理教室 (実習風景)



(2) 知的交流の推進

ア 国際協力セミナーの開催

(R5年度決算額 15 千円) (R4年度決算額 97 千円)

開発途上国をめぐる諸問題や国際協力に対する県民の理解を深め、国際協力活動への参画を促すため、国際協力の専門家、県内NGOの活動家や青年海外協力隊OB等を講師に招き、国別・テーマ別のセミナーやフォーラムを開催。

a 「支え合いで深めた～兵庫とトルコのつながり～」

- ・時 期 9月14日(木)
- ・形 式 オンライン
- ・参加者 179名
- ・内 容 2023年2月に発生したトルコ・シリア地震について、国際緊急援助隊員による現地での支援活動や「ひょうごトルコ友愛基金」による復興支援活動の報告、兵庫県とトルコの友好の歴史の紹介等。

国際協力入門セミナー (オンライン)

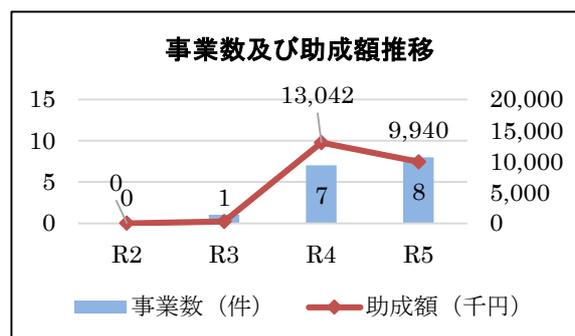


イ 国際会議開催への助成

(R5年度決算額 9,947 千円) (R4年度決算額 13,047 千円)

県内への国際会議誘致を促進するため、会議開催費の一部を助成。

- ・件 数：8件9,940千円



ウ 国際会議場の活性化への支援

(R5年度決算額 300 千円) (R4年度決算額 300 千円)

国内外のさまざまな人と交流・体験できる「こころづくり絵画コンクール」を美しい自然環境に囲まれた淡路夢舞台国際会議場を会場に、株式会社夢舞台などと共催により開催。

- ・時 期：10月29日（日）
- ・参加者：571人（うち外国人96人）

エ オックスブリッジ英語サマーキャンプの実施

(R5年度決算額 506 千円) (R4年度決算額 0 千円)

オックスフォード大学及びケンブリッジ大学の学生を県内大学・高校等に派遣し、英会話授業や国際交流事業を実施。（令和2～4年度は中止）

- ・時 期：7月20日（木）～8月20日（日）
- ・受入学生：2名
- ・派遣団体：5団体
- ・参加者：延べ152名



神戸女子大学学生との交流



神戸大学附属中等教育学校での授業

(3) 国際理解の促進

ア 民間国際交流事業への助成

(R5年度決算額 933 千円) (R4年度決算額 1,245 千円)

県民による国際交流活動を育成・奨励するため、先駆的・先導的な国際交流事業に対し助成。

- ・助成額：助成対象経費の1/2（上額10万円）
- ・対 象：県内で国際交流活動に継続的に取り組むNGO/NPO等の非営利団体が行う国際交流事業
- ・交付決定件数：14件、1,302千円



地球のステージ(兵庫県ユニセフ協会)



イ 国際交流団体等ネットワークの構築

(R5年度決算額1,033千円) (R4年度決算額1,380千円)

県内の国際交流団体が有するノウハウや情報の共有、有効活用を図るネットワークを構築し、団体相互の連携を推進するため、「ひょうご国際交流団体連絡協議会」(HIA、県内36市町の国際交流協会及び準会員5町で構成)の活動を支援するとともに、「ひょうご国際交流メールマガジン」を広く配信するなど、情報発信を実施。

① 総会及び講演会(同日開催)

a 総会

- ・時期: 5月24日(水)
- ・場所: 国際健康開発センター9階会議室
- ・参加者: 42団体中25団体(17団体は委任状による出席)

b 講演会

- ・講師: 神戸学院大学経済学部客員教授 ナディヤ・ゴラル氏
- ・内容: ウクライナの歴史と文化

③ 情報共有・発信

a ひょうご国際交流メールマガジンによる各団体のイベント情報の掲載

- ・発出回数: 16回

b Facebookによる協議会事業、会員団体事業及び災害時等の情報の発信

- ・更新回数: 64回

c 地域で活躍する外国人を「“応援しよう”ひょうごの仲間」として紹介

- ・紹介人数: 6人

④ 人材育成事業

a 通訳・翻訳ボランティア研修

- ・時期: 11月12日(日)
- ・場所: 三宮研修センター
- ・参加者: 4団体18名

b テーマ別研修会・講演会

- ・時期: 1月23日(火)
- ・形式: 対面＋一部オンライン
- ・場所: 三宮研修センター
- ・内容: 協議会の10周年を記念して、協議会の活動を振り返るとともに、市町協会等や外国人支援団体の活動報告
- ・参加者: 市町協会等25団体45名、外国人支援団体8団体13名

c 新任職員研修

- ・時期: 6月21日(水)
- ・形式: オンライン
- ・参加者: 12団体12名

d 「やさしい日本語」講師の派遣

- ・派遣回数: 3団体4回

⑤ 啓発・普及事業

a 地域別意見交換会による情報共有

- ・実施回数: 各地域1回(6地域)

b 会員紹介冊子の発行(年1回)

⑥ 表彰事業（草の根国際功労賞）

- ・個人：5人
- ・団体：2団体



総会（草の根国際功労賞受賞式）



10周年記念事業

ウ ひょうご国際交流キャラバンプロジェクト

（R5年度決算額 10,145 千円）（R4年度決算額 10,084 千円）

兵庫県国際交流員（CIR）をHIA内に配置するとともに、「ひょうご国際交流団体連絡協議会」の会員団体等と連携して、各地域の団体の活性化、ネットワーク強化を図るため、CIRの企画による国際交流イベントを各地で実施。

- ・回数：17回

派遣日	団体名	行事名
4月19日（水）	（公財）神戸国際コミュニティセンター	英語でおしゃべり
5月18日（木）	播磨町国際交流協会	国際交流 IN HARIMA
6月11日（日）	（公財）姫路市文化国際交流財団	海外姉妹都市青少年派遣事業事前研修
7月1日（土）	（一社）豊岡市国際交流協会	INTERNATIONAL DAY 2023 豊岡万博
8月20日（日）	播磨町国際交流協会	子どもインターナショナルデー
9月30日（土）	三田市国際交流協会	多文化相席食堂
10月7日（土）	（公財）加古川市国際交流協会	教えて！国際交流員！！
10月15日（日）	三木市国際交流協会	ぐるっとワールド in Miki
10月22日（日）	宍粟市国際交流協会	第19回宍粟国際ふれあいまつり
10月29日（日）	（公財）姫路市文化国際交流財団	ひめじ国際交流フェスティバル
11月18日（土）	三田市国際交流協会	Friendship Day in SANDA
11月19日（日）	NPO 法人赤穂市国際交流協会	アメリカ、中国の文化紹介とクラフト体験
12月2日（土）	（公財）兵庫県国際交流協会	国際交流員と客家料理を作ろう！
12月17日（日）	伊丹市国際・平和交流協会	つながる！ひろがる！みんなの文化2023
1月14日（日）	（特非）宝塚市国際交流協会	アメリカとウクライナ文化紹介英語講演会
1月24日（水）	猪名川町国際交流協会	教えてあなたの国の文化（豪州編）
1月31日（水）	猪名川町国際交流協会	教えてあなたの国の文化（韓国編）



教えて！国際交流員！！（国際理解講座）（加古川市）



子ども国際ナショナルデー（播磨町）

エ 広報紙（Come HIA）の発行

（R5年度決算額1,656千円）（R4年度決算額1,740千円）

国際交流・協力に関する各種情報及び協会の活動状況等を掲載した広報紙「Come HIA」を発行し県民の国際感覚の醸成及び国際理解の促進を図る。また、外国人県民に向けて、英語版、中国語版、韓国語版（いずれも電子版）を発行。

- ・発行時期：10月、3月
- ・発行部数：各号約5,000部

オ 関係団体への支援

（決算額 各協会に計上）

国際問題や国際協力への関心を喚起するとともに、新たな交流のきっかけづくりとするため、兵庫EU協会、日本国際連合協会兵庫県本部、JICA海外ボランティアひょうご応援団、兵庫県ユニセフ協会、国際防災・人道支援協議会（DRA）の活動を支援。

① 兵庫EU協会への支援

a 駐日スウェーデン大使講演会

- ・時期：6月22日（木）
- ・場所：神戸倶楽部
- ・内容：ペールエリック・ヘーグベリ駐日大使を招き、「スウェーデンの現状を学ぶ」というテーマでセミナー及び交流会を実施
- ・参加者：62人

② 日本国際連合協会兵庫県本部への支援

a SDGsと国際交流セミナー

- ・時期：10月28日（土）
- ・場所：JICA関西
- ・講師：UCCホールディングス㈱サステイナビリティ推進室係長 願能 千瑛 氏
- ・内容：コーヒー産業の課題や持続可能な企業の取組等についての紹介
- ・参加者：91人

b ワークショップ難民への支援

時期	テーマ
7月12日（水）	難民とは
7月19日（水）	難民の私
7月26日（水）	難民と私

c 難民問題セミナーへの支援

時 期	テーマ
11月22日(水)	トルコのシリア難民は今
11月29日(水)	ミャンマー難民は今
12月6日(水)	ドイツにおける難民の受け入れ
12月20日(水)	ウクライナの「なぜ」を読み解く:歴史と文化

d 防災教育イベント「イザ!美かえる大キャラバン」への共同出展

- ・時 期：1月28日(日)
- ・場 所：JICA 関西、人と防災未来センター

③ JICA 海外ボランティアひょうご応援団への支援

- a 国際協力入門セミナーの共同開催(再掲)
- b JICA ボランティア派遣前表敬訪問・オリエンテーションの支援
- ・時 期：7月14日(金)、10月2日(月)、1月19日(金)

④ 兵庫県ユニセフ協会への支援

- a 理事会への参画
- ・時 期：12月19日(火)
- ・場 所：生活協同組合コープこうべ本部
- ・内 容：HIA 理事長が同団体の常務理事として理事会に出席

⑤ 国際防災・人道支援協議会(DRA)への支援

- a 代表者会議及び活動報告会への参画
- ・時 期：10月5日(木)
- ・場 所：JICA 関西
- ・内 容：各団体の国際防災及び人道支援事業実施の状況を共有



駐日スウェーデン大使講演会(兵庫EU協会)



SDGs と国際交流セミナー
(日本国際連合協会兵庫県本部)



JICA 海外ボランティア派遣前表敬訪問
(JICA 海外ボランティアひょうご応援団)



イザ!美かえる大キャラバン実施風景
(日本国際連合協会兵庫県本部)

カ 草の根の国際交流の推進

〔再掲〕

キ 海外移住と文化の交流センターへの支援

〔再掲〕

3 人づくりへの貢献

人物交流や教育活動等を通じて、国際社会を担う次代の国内外の人材育成を推進。

(1) 人物交流による人材育成

ア ひょうご海外研修員の受入

(R5年度決算額 1,737 千円) (R4年度決算額 845 千円)

兵庫県の友好州省をはじめとする諸外国から優秀な青年を研修員として受け入れ、研修機会を提供することにより、課題解決型の交流を促進。

- ・時 期：2月5日～2月9日（5日間）
- ・受入人員：ブラジル国、パラナ州から4名
- ・研修内容：個別研修（県内企業及び姉妹都市での研修）、スタディツアー等



ひょうご海外研修員の受入

イ セーヌ・エ・マルヌ県との人物交流の促進

(R5年度決算額 638 千円) (R4年度決算額 0 千円)

セーヌ・エ・マルヌ県との人物交流を行い、両県間の相互理解と友好関係を促進するため研修員を受入。

- ・時 期：7月24日～9月12日（2カ月）
- ・受入人員：1人
- ・研修内容：個別技術研修（県内企業及び機関での専門分野の研修）、スタディツアー

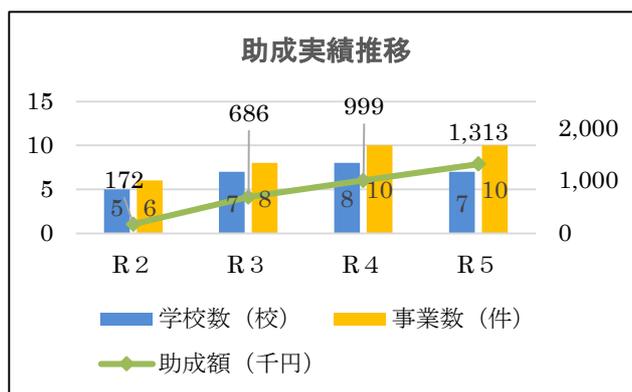
(2) 教育活動を通じた人材育成

ア 外国人学校交流の推進

(R5年度決算額 1,313 千円) (R4年度決算額 999 千円)

外国人学校に通う児童生徒が兵庫県の自然とのふれあいや地域住民との交流を通し、地域、ひいては兵庫県への理解を深めることを目的に、外国人学校が実施する自然学校等の事業に対し助成。

- ・対象者：外国人学校
- ・助成額：助成対象経費の1/3（上限：428千円/校）
- ・内 容：日帰り若しくは1泊2日以上のある県内自然交流施設等での体験学習
- ・件 数：7校10事業（1泊2日8事業、2泊3日2事業）



イ 外国語指導助手(ALT)を活用した人材の育成 (新規)

(R5年度決算額 152,524 千円) (R4年度決算額 152,524 千円)

外国語指導助手(ALT)を活用して、英語教育の充実を図るとともに、高校生の海外留学支援や姉妹校等との国際交流の推進を図り、豊かな語学力、コミュニケーション能力を身に付け、国際的に活躍できるグローバル人材を育成。

- ・ 配置校：全ての兵庫県立高等学校（全日制）
- ・ 内 容：海外姉妹校等の共同学習、高校生の海外留学の指導補助、学校及び地域の国際交流活動の指導補助等の事業に必要な経費の一部を負担。

ウ 留学生への兵庫の魅力のPRと自己学習・交流促進事業 (新規)

(R5年度決算額 0 千円)

兵庫県への関心や県内各地を訪問することによる県民との交流機会を創出するとともに、留学生の自主的な学習活動を支援するため、博物館、美術館等施設の入場料等の優待、割引を受けることのできる「ひょうごカルチャーパス」を県内の大学等で学ぶ外国人留学生に配布。

- ・ 対象者：兵庫県内の大学・大学院、短期大学、専門学校等で学ぶ外国人留学生
大学・大学院・短期大学 28校、高専 1校、私立高校 3校、専修学校 10校、日本語学校 29校 総数 1万4千枚

エ 訪日教育旅行の誘致促進・学校交流支援

〔再 掲〕

オ オックスブリッジ英語サマーキャンプの実施

〔再 掲〕

(3) 多文化共生推進人材の育成

ア 地域日本語教育の総合的な体制づくりの推進

〔再 掲〕

イ 外国人県民・児童生徒の居場所づくり

〔再 掲〕

ウ 母語教育等活動支援事業

〔再 掲〕

エ 母語教育の普及啓発

〔再 掲〕

オ 多文化共生を考える研修会の開催

〔再 掲〕

(4) 国際協力人材の育成

ア 国際協力セミナーの開催 [再掲]

イ 関係団体への支援 [再掲]

《その他事業》

1 母語教育等活動支援事業 [再掲]

2 医療機関における外国人患者受入環境の整備 [再掲]

3 国際会議開催への助成 [再掲]

4 国際会議場の活性化への支援 [再掲]